

## 市民意見の要旨と御意見に対する本市の考え方

○ 御意見者数：93名，御意見数：155件

### 1 計画全体について 24件

番号	市民意見の要旨	件数	本市の考え方
1	歴史のある京都で、大学のまちとして取り組むことは良いことだと思います。	1	御意見を参考に、計画を着実に推進していきます。
2	一市民として応援したい。これからもぜひ予算と広報に力を入れてほしい。	1	
3	産学連携や学生の主体的な学びの推進に賛成。 若者が学び、考え、実践できるまち、オール京都で若者がチャレンジできる場をたくさんつくる必要がある。	1	
4	次期計画を推進し、「大学のまち」「学生のまち」としての魅力を更に高めてほしい。	1	
5	京都を大学生に住みやすい、学習しやすいまちへ、また多くの留学生に京都に来てもらうことで日本を発信することは大変良いこと。 京都を活性化させるため、また次世代を担う学生のためにも実現すべき。	1	
6	現在の政策、今後の計画をみると、丁寧に考えられ、大学コンソーシアム京都を中心に、京都市にある全大学、産官との交流によるオール京都体制は素晴らしいと感じる。	1	
7	ノーベル賞受賞者が東京より京都で出やすい、マンガ学科が全国に先駆けてできたなど、自由・進取の気性を生かし、今後も時代を先取りした学部や大学の誘致を期待したい。	1	本計画を推進することで、各大学がそれぞれの個性を発揮できる環境づくりを進めたいと考えます。
8	京都の歴史や文化に惹きつけられる人は多い。いろいろな大学で取組が増えれば良い。	1	
9	大学が新しいことに挑戦する姿勢が薄れているように感じられ、どの大学も同じように見える。	1	本計画では、各大学による魅力向上や個性化に向けた取組を更に効果的に進められる環境づくりを進めていきます。

10	小規模な単科大学から大規模総合大学まで、各大学のニーズを踏まえた政策への反映が重要。	1	計画の策定にあたっては、個別大学へのヒアリング、計画案に対する意見聴取などを行っており、各大学ニーズを踏まえた計画となるよう努めています。
11	京都は、市民が温かく学生を見守る風土があった。一方、大学側は学生に対しきめ細やかに対応し過ぎではないか。大学はもっと自発的に学ぶところではないかと思う。	1	個々の大学の教育方針について本計画では言及しませんが、大学で学べないことをまちで学ぶ、「学生を育てる」まちであり続けることが、京都市の役割のひとつと考えます。
12	京都だからできるといった内容が乏しいように思う。多くの大学が集まる京都、観光都市京都、日本を代表する芸術文化都市京都、景観を重視する京都などと連携して京都の強みを活かした内容にできないか。	1	大学コンソーシアム京都による大学連携の取組や京都の文化施設や企業と連携した取組など、京都だからこそ実現できる特色ある事業を計画に位置づけています。
13	なぜ京都市(行政)が大学のあり方を決めるプランを立てるのですか。	1	目指すべきビジョンで示すように、大学と京都市は相互になくってはならない存在です。本計画は、個々の大学の有り様を決めるのではなく、大学・学生の学びの環境の向上、大学連携による取組の支援を行うことによって、個々の大学が個性を発揮できる環境をつくることを目的としています。
14	「大人」の責任が持てるような人財育成につながる事が大切。学生のモラルの低下、選挙への無関心、少子高齢化などに対し、夢を持って努力できる学生が増えてほしい。	1	第4編「5 学生が持つエネルギーをいかした京都力の強化」を位置づけ、そうした自主性を持った学生が育つよう施策を推進していきます。
15	学生祭典は大学でほとんど話題に登らず、誘われて行って見たが「どこが楽しいのか分からない」というのが正直な感想だった。学生に優しい飲食店も少なく、学生にメリットのある計画になるか、疑問である。	1	第4編「5 学生が持つエネルギーをいかした京都力の強化」を位置づけ、学生による主体的な活動を促進し、学生の成長を地域ぐるみで応援するまちを目指します。
16	学生の本分は学び。学生時代から市民活動に積極的なことは良いが、それだけを評価するようなことのないようにしてほしい。	1	地域活動は学生の学び・成長につながるものでもあるため、大学での学びと地域活動が両立し、相互にメリットを生み出す関係を構築することが大切であると考えます。
17	大学に入ると遊んでしまう人がおり、学習しなければ卒業できない形がよい。	1	個々の大学の教育方針について本計画では言及しませんが、各大学が独自に検討すべき課題と考えます。

18	施策は行政に協力的な意識の高い一部の学生、理系学生、就職活動中の学生、留学生を対象にしたものが多く、多くの学生には「敷居が高い」と感じる。多くの学生が恩恵を受けるには、きめ細やかな学生の学術、文化活動の支援が必要。例えば公共施設や大学施設を気軽に利用できるような取組が必要ではないか。	1	より多くの学生にメリットを認識していただくため、先行する活動の広報など、学生への効果的な情報発信に取り組んでいきたいと考えています。また、第4編「1 学生が学ぶ環境の充実」の推進施策(2)「学生が京都とふれあい、協働する環境づくり」に記載しているとおおり、学生が京都の文化などを体験できる機会の拡充に努めます。
19	楽しい学生生活を京都で過ごし、京都が好きになれば、卒業後も京都で就職したいと思ってもらえる。	1	京都を好きになり、また京都で就職したいと思う学生が増えるよう、計画を着実に推進していきます。
20	学生が京都で生活(または滞在)する時間をより長くするために、イベントを含む仕組みづくりをさらに考える必要がある。	1	計画を着実に推進し、様々な取組を行うことにより学生の主体的な活動を促進していきます。
21	全体的にコンパクトにまとまっており読みやすい。	1	計画冊子は、できるだけ分かりやすく、簡潔な表現とするよう努めます。
22	もう少しコンパクトに分かりやすく、パンフレットなどが作成できないか。また、計画でメインとなる大きな花火をひとつ、打ち上げられないか。	1	計画策定に当たっては、リーディング施策などの位置づけを行い、メリハリをつけるように努めています。また、計画冊子は、できるだけ分かりやすく、簡潔な表現とするよう努めます。
23	全体的に分かりにくい表現の文章もあったので、計画策定時には公表資料もあわせて表現を工夫されたい。	1	計画冊子は、できるだけ分かりやすく、簡潔な表現とするよう努めます。
24	大学のまちであることをPRするためにも、この計画を広く知ってもらう必要がある。多くの人に関心を持ってもらうよう構成やデザインを工夫した方が良い。	1	計画冊子は、できるだけ分かりやすく、簡潔な表現とするよう努めるとともに、多くの方に関心を持っていただけるようデザインにも留意します。

## 2 第1編「計画策定の趣旨など」について 3件

番号	市民意見の要旨	件数	本市の考え方
25	この計画が上位にある京都市の計画とどのように関わるのかよく分からない。計画期間についても関連があるように思えない。	1	第1編「3 計画の位置づけ」に示しているとおおり、本計画は「はばたけ未来へ！京プラン」の分野別計画に当たり、京プランに示す6つの未来像の1つ「学びのまち・京都」の実現に向けて推進していく施策をとりまとめたものです。また、計画期間については、近年の大学・学生をとりまく急激かつ大きな状況変化のスピードを勘案し、5年間としています。

26	評価を行うに当たって、年度ごとの計画や数値目標等の評価指標、到達目標等が設定されているのか。これらがなければチェックはできない。	2	各事業単位で毎年度行う事務事業評価結果や本計画の上位計画である「はばたけ未来へ！京プラン」に設定している共汗指標の達成状況を踏まえ、「大学のまち京都・学生のまち京都推進会議」において、本計画に掲載している施策・事業の進捗状況を毎年度点検します。
----	--	---	--

### 3 第2編「大学・学生を取り巻く状況と課題」について 1件

番号	市民意見の要旨	件数	本市の考え方
27	留学生が増えることで市民にどのようなメリットがあるか明示すれば、市民にもおもてなしの雰囲気が醸成できる。現時点で明示できなければ、調査研究が必要ではないか。	1	「(2)大学・学生の国際化を促進する仕組みの充実」に、留学生が増えることによる市民や地域社会、企業に期待される効果を追記します。

### 4 第3編「目指すべきビジョン」について 3件

番号	市民意見の要旨	件数	本市の考え方
28	大学のまちに暮らす市民のあるべき姿も示すべきではないか。また、市民向けの広報はインターネットにアクセスできない方も踏まえ、多様な媒体・手法で情報発信してほしい。	1	大学のまち京都・学生のまち京都で暮らす市民や学生の姿を、目指すべきビジョンに追記します。また、情報発信については、プロモーション戦略も踏まえ、御意見の通り多様な手法の活用を図っていきます。
29	世界の学術交流の拠点・京都として盛り上げてほしい。	1	「目指すべきビジョン」に示しているとおり、計画の着実な推進により実現していきたいと考えます。
30	「目指すべきビジョン」はわかりやすく、素晴らしい理念だと思う。	1	計画を着実に推進し、目指すべきビジョンを実現していきたいと考えます。

### 5 第4編「施策の推進」の「1 学生が学ぶ環境の充実」について 27件

番号	市民意見の要旨	件数	本市の考え方
31	後30年もすればオーバーカレッジの時代となり、単位互換科目は「量から質へ」の転換が求められる。京都の大学連携でしか実践できないカリキュラムの開発・システムづくり、特にPBLプログラムの取組を検討いただきたい。	1	リーディング施策(1)の具体策として「京都だからこそ提供できる特色ある単位互換科目の開発」を行い、PBLの取組を検討したいと考えます。

32	単位互換科目は単位が楽に取れるが、授業はあまりおもしろくなかった。自大学なら内容や評判を聞いて履修の参考にできるが、他大学では事前情報が得られず、授業を受けてがっかりすることもある。履修要綱だけでは判断できない。この授業がおもしろい！という授業を単位互換科目にしてほしい。	1	「単位互換科目の魅力の向上」をリーディング施策に位置づけ、京都だからこそ提供できる特色ある単位互換科目の開発や、より魅力的な科目提供の促進などに取り組みます。
33	京都の大学である以上、いろいろな大学のいろいろな学部で「京都学」のような京都を学べる授業があればいいと思う。京都に愛着を持った学生、京都のために何かしたいという学生を増やすことになる。	3	リーディング施策(1)の具体策として「京都だからこそ提供できる特色ある単位互換科目の開発」を進めていきます。
34	京都から大学が流出しないよう、高さ制限を緩和しては。	2	「大学施設整備の支援」をリーディング施策に位置づけ、ワンストップで支援する窓口を設けて、技術的な助言等を行うとともに、地区の特性に応じてきめ細やかなルールを決める地区計画制度等を効果的に運用するなど、各大学の個性を生かした施設整備を支援しており、今後もその取組を継続・強化していきます。
35	大学キャンパスをすべて特別区域に指定し、高さ・建蔽率・容積率・景観規定などの大胆な緩和で、もっと「大学・学生のまち＝京都」であることを全面に打ち出す政策を行ってほしい。	1	「大学施設整備の支援」をリーディング施策に位置づけ、各大学の施設整備を効率的に進めていただけるよう、ワンストップで支援する窓口を設けて、技術的助言や関係者間の調整等を行っており、今後もその取組を強化していきます。
36	制限緩和の審査会等の手続が煩雑であり、大学環境整備の意欲がなくなるよう手続きの簡便化を図るべき。	1	「大学施設整備の支援」をリーディング施策に位置づけ、各大学の施設整備を効率的に進めていただけるよう、ワンストップで支援する窓口を設けて、技術的助言や関係者間の調整等を行っており、今後もその取組を強化していきます。
37	「安全に安心して学べる京都」や安全・安心という言葉があるが、京都市の他の施策では安心・安全と表記している。合わせたほうが良いのでは。	1	御意見を踏まえ、表現を修正します。
38	大学生を犯罪から守り、被害者・加害者を出さないための取組は、自転車事故など身近な問題から、薬物問題まで幅広く、また大学だけでなく行政が取り組むべき課題も多い。	1	「安全に安心して学べる京都の充実」を推進施策に位置づけ、大学と警察と行政の連携による取組を強化したいと考えています。

39	大学キャンパスの近くに街灯がなくて怖い。	1	推進施策(1)に街路灯の整備促進を位置づけています。個別・具体的な内容(地域)については、今後計画を推進するなかで、大学や地域の声を参考にしながら、検討していきます。
40	すばらしい推進計画(案)であり、特に「安全で安心して学べる京都」の充実①～④は今日の状況を的確に反映している。学生数が減少していく中、各施策を推進し、優秀な留学生を受け入れてほしい。	1	御意見を参考に、計画を着実に推進していきます。
41	防災・防犯に関するハンドブックの作成はよい考えである。	1	
42	学生の生活マナー(ごみ出し、ポイ捨て、自転車の乗り方、放置自転車など)向上が「学生のまち」を実質化する。	3	推進施策(1)に「③学生が犯罪・交通被害・消費者トラブルに遭わない環境づくり」を位置づけており、その一環として、関係機関と連携しながら、学生の防犯意識や規範意識の向上に努めていきます。
43	他府県から転入して来る学生に京都の歴史や文化を教える冊子をプレゼントしてはどうか。転入時に暮らしのガイドを貰って助かった。	1	推進施策(2)において、学生とまちのふれあいや文化芸術情報の発信を位置づけており、御意見については、今後計画を推進する中で参考にさせていただきます。
44	京都の文化にふれあうきっかけをたくさん作れば、京都を好きになってくれるのではないかな。	1	推進施策(2)に「①学生が京都の魅力にふれる機会の充実」を位置づけており、計画を着実に推進していきたいと考えます。
45	スマートフォンなどによるアンケートも良いが、よほど魅力的なものを作らないと答えない人が大半だと思う。	1	推進施策(2)に「②学生の意見吸収システムの構築」を位置づけており、御意見については、今後計画を推進する中で参考にさせていただきます。
46	「学生の意見吸収システムの構築」は、学生の多くがスマートフォンを利用していることに着目した良い発想であると感じた。現在、京都市が利用しているツイッターやFacebookを通じて協力を呼びかける方法も良いのではないかな。	1	
47	学生と地域との結びつきを強める政策が重要。学生がコミュニティと関わることで市民が学生を応援する機運も高まる。	3	推進施策(2)に「③学生が地域の一員として暮らせる環境づくり」を位置づけており、計画を着実に推進していきたいと考えます。

48	私学の学費が安くなるよう、私学助成等の支援を充実させてほしい。	1	国の事業となるため、本計画での位置づけは困難と考えます。
49	環境先進都市を志す京都の象徴的な存在として、すべての大学で環境にやさしい取組を行っていることを宣言し、大学間で競い合うような取組を行ってはどうか。	1	推進施策(3)に「③環境配慮型経営に取り組む大学への支援」を位置づけており、省エネルギーなどに積極的に取り組む大学を支援します。
50	キャンパスプラザは良い設備が安価に利用できるのがありがたい。	1	推進施策(4)に「②キャンパスプラザ京都の利用促進」を位置づけており、今後さらにPRを強化していきます。

## 6 第4編「施策の推進」の「2 大学・学生の国際化の促進」について 32件

番号	市民意見の要旨	件数	本市の考え方
51	東アジアの社会人が京都へ学びに来る環境整備が求められる。大学経済学部、経営学部、商学部と民間企業が連携し、短期間カリキュラムの京都ビジネスカレッジ新設が望ましい。	1	本計画での位置づけは難しいと考えますが、今後計画を推進する中で参考にさせていただきます。
52	京都の大学はもっと海外戦略を考え、多くの留学生を受け入れる努力が必要。	1	各大学が留学生の受入れを更に効果的に進められる環境づくりとして、計画を着実に推進していきます。
53	外国人留学生を歓迎することは大切であり、それによって時代のグローバル化に対応できる学生が生まれる。	4	御意見を参考に、計画を着実に推進していきます。
54	多くの留学生を受け入れ、留学生と市民との交流がまちの活気につながるような取組を進め、他都市のモデルになることを期待したい。それが国際文化観光都市・京都の知名度をさらに高めることにもなる。	1	「(1)留学生誘致に向けた海外への広報」「(2)大学のまち京都の魅力を体感できる短期留学受入の実施」をリーディング施策に位置づけているほか、留学生支援体制の充実も図り、総合的に留学生誘致に取り組んでいきます。
55	外国の学生に京都の魅力を知ってもらい、留学生を増やしてほしい。	1	
56	京都ならではの魅力をアピールすることにより、日本の歴史や文化を感じることもでき、外国からの感心も高まる。	1	「(1)留学生誘致に向けた海外への広報」「(2)大学のまち京都の魅力を体感できる短期留学受入の実施」をリーディング施策に位置づけているほか、留学生支援体制の充実も図り、総合的に留学生誘致に取り組んでいきます。

57	留学生増加にはターゲットの絞り込みが効果的かもしれないが、多様な地域から学生が集まることも重要。世界中の学生・研究者が集うまちであることを望む。京都へ留学する学生を増やすことは、京都の学生の海外留学への心理的ハードルを下げる効果もある。	1	リーディング施策(1)(2)などの取組を進めることにより、ターゲットの地域は一定意識しつつ、様々な国・地域への発信を強化していきます。
58	芸術や料理の学生さんも京都で勉強して、世界中に発信して行ってほしいと思います。	1	留学生の誘致を進める中で、多様な学生に京都で学んでいただくことにより、京都の芸術や文化も世界に発信されるものと考えます。
59	市内の留学生の全国に占める割合は、24年度にやっと学生数の全国に占める割合と同水準(4.6%)になっている。早い時期に5%, 6%に高めることが望まれる。	1	「(1)留学生誘致に向けた海外への広報」「(2)大学のまち京都の魅力を体感できる短期留学受入の実施」をリーディング施策に位置づけているほか、留学生支援体制の充実も図り、総合的に留学生誘致に取り組んでいきます。また、全国に占める市内の留学生数の割合の変化が分かるよう、第2編「2 今後の課題」の留学生数の推移の表に数値を追記します。
60	問題点「京都で学びたい留学生候補者にとって、日本語学習がネック」 1. 京都にどんな日本語学校が、どこにあるのかわかりにくい。 2. 京都の日本語学校の数居が高い。申請書類の記入項目が多い。 3. 総合大学、大学院と日本語学校とのつながりが希薄。	1	留学生の誘致・支援に当たっては、日本語学校との連携も検討していきます。
61	留学生サイトなど京都市外の大学の情報が掲載されていないことを考えると、京都府と連動した動きも必要ではないか。	1	留学生誘致に向けた「京都留学サイト」では、京都府の留学生支援施策も閲覧いただけます。
62	海外への情報発信についてはWEBサイト等を通じてお願いしたい。京都市の英語版のWEBサイトはかなり情報量が少ないように見受けられる。他言語のWEBサイトにおいても大学関連の情報発信とリンクさせ、海外の高校生が「京都」や「マンガ」「歴史」といったキーワードでサイトを検索した時に、「京都市」のHPがヒットし、そこから各大学につながっていくような流れが出来るとうい。	1	「留学生誘致に向けた海外への広報」をリーディング施策に位置づけており、計画の推進段階で御意見を参考にさせていただきます。



63	留学生誘致に向けた海外への広報で、京都に本社を置く企業の海外支社・支店のロビーや窓口を活用できないか。	1	プロモーション戦略と合わせ、効果的な情報発信に取り組んでいきたいと考えています。個別・具体的な内容については、今後計画を推進するなかで、大学や企業と連携しつつ、検討していきます。
64	カナダ、オーストラリア、ニュージーランドのように、京都で英会話の語学研修のユースホステルやビジネスホテルに1週間～1か月程度滞在し、日本語と京都の文化を学ぶ語学研修パックの企画を。また、タクシー会社やバスとの連携による関西国際空港からユースホステル等への移動の利便性向上も必要。	1	「大学のまち京都の魅力を体感できる短期留学受入の実施」をリーディング施策に位置づけ、京都の大学の講義と京都の文化等の体験を組み合わせた2週間程度の受入プログラムを実施していきます。実施に当たっては、交通の利便性にも配慮します。
65	短期滞在の留学生が1週間、2週間、3週間使える市バス、地下鉄のWeekチケット取扱開始を検討願いたい。	1	市バス・地下鉄については、1日乗車券やトラフィカ京カードなどを御利用いただきますようお願いいたします。
66	休みを増やした分、世界の人との交流をすると良い。交流のきっかけをつくると、取組も広がる。	1	「京都で学ぶ学生の海外留学派遣の強化」をリーディング施策に位置づけているほか、「留学生の交流機会の充実」を推進施策に位置づけています。
67	留学生がゴミの分別回収を学ぶ場が必要。古紙回収、ペットボトルのリサイクル回収についても暮らしのマナーとして留学生に伝えたい。	1	毎年4月と10月に、京都での生活のルール等を伝える外国籍市民向けのオリエンテーションを実施していますので、「留学生などの生活支援」に追記します。
68	留学生が増えると学生間のトラブルも増える可能性がある。ハンドブックの作成や環境づくりも盛り込まれているが、学生の規範意識は現段階でもあまりよくないので、早急に解決すべき。	1	推進施策(2)を推進する中で、大学等とも連携し、対応してまいりたいと考えます。
69	留学生については京都市においても宿舎面、生活面など、サポート体制を敷いてほしい。国や地方自治体が「留学生を多く受け入れる」方針を持って、現場がその体制をもっていない場面が多々見受けられる。(例えば、多言語に対応いただける病院、トラブルに遭った場合の警察対応、国内に保証人のいない外国人の宿舎問題など)	1	推進施策(2)に住居や生活の支援を位置づけており、計画を着実に推進していきます。

70	留学先を選ぶ基準は種々あるが、安心・安全な勉学環境・居住環境が確保できるかが最大の問題。本人はもとより送り出す家族にとっても心配の一つであり、現在の京都市内の大学などが整備している学生の宿舎は充分ではないと思う。留学生受け入れ促進のための重要課題として、留学生にとって魅力的な、安心安全な居住環境の確保、整備に期待する。	1	推進施策(2)に住居の支援を位置づけており、計画を着実に推進していきます。
71	京都は歴史のあるまちで、外国の方も興味を持ちやすく、留学生との交流は大事。	1	推進施策(2)に「④留学生の交流機会の充実」「⑤京都を好きになってもらう取組の充実」を位置づけ、従来の取組をさらに発展させていきます。
72	留学生と市民のスポーツ交流の場が必要。合同卓球練習会、合同ソフトボール練習会の開催を期待。	1	推進施策(2)に「④留学生の交流機会の充実」を位置づけており、市民団体等との連携において、御意見を参考にしていきたいと考えます。
73	短期留学で京都を知ってもらうことは、長期留学のきっかけになる。また、住宅関係も留学生増に寄与する。しかし、留学不安は言葉の問題が大きく、小さな日本語講座を京都の留学生が合同で実施すれば、他大学の留学生との交流の場となり、留学に対する不安が和らぐ。	1	推進施策(2)に「④留学生の交流機会の充実」を位置づけており、計画の推進段階で御意見を参考にしていきたいと考えます。
74	留学生の数を増やすだけでなく、日本人学生との交流機会を増やすこと。	1	推進施策(2)に「④「留学生の交流機会の充実」を位置づけており、計画を着実に推進していきます。
75	京都にさほど興味はない…という留学生にこそ、京都の魅力をアピールすべき。	1	推進施策(2)に「⑤京都を好きになってもらう取組の充実」を位置づけ、従来の取組をさらに発展させていきます。
76	外国人留学生の学びをどのように「学生の明るい将来につなげるか」。伝統産業なら、歴史を体験するにとどまらず、観光業の仕組みやブランディングデザインの学び、ライフワークの発見・実現など。今までのカタチに固執せず柔軟かく掘り下げるのが良い。	1	推進施策(2)に「⑤京都を好きになってもらう取組の充実」を位置づけ、京都の伝統文化などに触れる機会をつくっていきませんが、御意見については、今後計画を推進する中で参考にさせていただきます。
77	外国からの留学生も京都を支える貴重な人材であり、そちらの取組にも力を入れてほしい。	1	推進施策(2)「⑤京都を好きになってもらう取組の充実」、推進施策(3)「留学生の進路・社会進出の支援」を位置づけており、計画を着実に推進していきます。

78	留学生の友人は京都のまちを気に入ってくれたが、京都で就職できなかった。留学生に限らないが、京都で学んで京都で働ける環境整備はとても大事だと思う。これからも京都ファンを多くつくり、京都の魅力が広がる未来を期待する。	1	推進施策「(3)留学生の進路・社会進出の支援」を位置づけています。また、留学生に限らず、新たな柱として第4編「3 学生の進路・社会進出支援」を打ち出し、計画を着実に推進していきます。
79	大学職員の国際化の支援に共感した。留学生をサポートする立場の職員の語学力不足などが大きな障害となり、留学生が京都を留学先に選ぶことを妨げる結果となることは、大変残念。また、大学職員が京都市の国際化の支援の取組に参加し、成果をあげることで、京都市全体としての国際化や大学の国際化により留学生の受け入れ態勢が図れるなど、双方にメリットがあると感じた。各大学単位ではカバーできない部分を京都市や大学コンソーシアムが支援することが期待される。	1	推進施策「(4)大学職員の国際化の支援」を位置づけており、大学コンソーシアム京都におけるSD研修などにより、計画を着実に推進していきます。

7 第4編「施策の推進」の「3 学生の進路・社会進出の支援」について 15件

番号	市民意見の要旨	件数	本市の考え方
80	コーディネーターによる相談や企業人事によるぶっちゃけ座談会などが開かれる、「働く」をイメージできるコミュニティスペース(例えば京都の地元企業の情報ハブ地)がほしい。	1	「学生の進路・社会進出の支援」を新たな柱として位置づけ、京都市フルカバー学生等就職支援事業における個別相談や各種セミナーなどの取組を通じ、多様な選択肢を描ける人財育成の充実等に取り組んでいきます。
81	就職支援については、まだまだ本部機能が東京一極集中している現状があり、関西の学生は関東の学生に比べて物理的に不利な側面がある。各大学が個別に実施しているようなバスツアーを京都市が計画するなどの支援があっても良いのでは。もちろん、京都で就職したい学生にはさらなる支援を期待したい。	1	「学生の進路・社会進出の支援」を新たな柱として位置づけており、計画の推進段階で御意見を参考にしたいと考えます。
82	「3 学生の進路・社会進出の支援」において、「しっかりとした職業観や自立意識を持つ学生を育むまちを目指す」としているのは全く同感。伝統工芸や中小企業、オンリーワンの世界に冠たる企業、国際会議等を実体験する機会を学生が自由に選び、経験を積める仕組みを検討してはどうか。	1	「京都企業と連携した人財育成」をリーディング施策に位置づけているほか、推進施策(1)に「③大学コンソーシアム京都インターンシップの充実」を掲げており、多様な企業に登録していただけるよう働きかけていきたいと考えます。

83	地方出身の学生が地元へUターン就職するのは仕方ないが、大阪や東京に就職していくのはなんとかならないものかと思っていた。	1	「3学生の進路・社会進出の支援」に掲げる施策の推進を通して、学生の京都企業への就職を促進していきたいと考えます。
84	京都企業と学生のマッチング促進が新規にとりあげられているが、良いこと。インターネットを利用する今の就職活動は、情報に振り回されている学生も多いのではないか。京都で働きたい学生に京都企業の情報を的確に発信できれば、京都企業への就職促進につながる。	1	御意見を参考に、計画を着実に推進していきます。
85	将来の京都を支える学生が、京都企業や地域で活躍する仕組みを充実させることが、京都市の担う大きな役割ではないか。大学や地元企業と連携し、京都で学んだ学生がいきいきと働けるまちづくりを進めてほしい。	1	「京都企業と連携した人財育成」をリーディング施策に位置づけており、計画を着実に推進していきます。
86	学生時代に一早くキャリアデザインを描き、海外との交流、企業経営者や研究者との交流を深めるとともに、京都で学ぶ学生に京都で就業することが、無限の可能性を秘めることを伝える施策が必要である。	1	「京都企業と連携した人財育成」をリーディング施策に位置づけており、京都企業と学生が相互に知り合う機会となるよう取組を推進していきます。
87	グローバルPBLは、企業にただ働きとして使われるビジネスごっこという印象を受けた。大学は学問をするところであり、社会に出る準備機関ではないと考えるので疑問に思う。ただ、京都の中小企業の調査や訪問は良い経験となり、京都への愛着、すごさを感じた。	1	「京都企業と連携した人財育成」をリーディング施策に位置づけており、計画を推進していく中で、学生の就業観を高めるとともに、京都企業への就職など卒業後の京都への定着につなげたいと考えます。
88	大学の教育の一環として組み入れることも含めたインターンシップの一層の充実が、就職率の向上にもつながり、学生・企業の双方にとってメリットが大きい。	1	「京都企業と連携した人財育成」をリーディング施策に位置づけているほか、推進施策(1)に「③大学コンソーシアム京都インターンシップの充実」を位置づけており、着実に推進していきます。
89	学生に安定志向が強く、大企業にばかり目を向けてはいないか。京都の中小企業で様々なことを学び、いずれ独立するような気概を持ってほしい。大学も学生の選択肢を増やす働き掛けをしてもらえば、ミスマッチも減る。	1	リーディング施策(1)(2)をはじめ、学生の京都企業への就職の促進につながる取組を進めていきます。今後は、事業者等との連携により、この計画を着実に推進していくことが大切だと考えます。

90	サイト「京のまち企業訪問」には零細企業も含まれ、有益だが、例えば民間会社(リクナビ・マイナビ等)との連携によるサイトの知名度向上も検討してほしい。	1	民間とのリンクや大学の進路関連部署との連携など、どのようなPRが効果的か、計画の推進段階で御意見を参考に検討していきたいと考えます。
91	伝統文化を守る学生を京都で育ててほしい。	1	リーディング施策(2)で伝統産業を含む多様な京都企業の情報発信に取り組むほか、「4大学との連携による京都の経済・文化・地域の活性化」のリーディング施策(1)において大学のノウハウをいかした技術継承、職人技術の保全・継承など伝統産業の維持・継続を位置づけています。
92	京都に本社機能を置く企業は多く、それを就職に活用する流れを作してほしい。	1	「京都企業と学生のマッチングの促進」をリーディング施策に位置づけており、計画を着実に推進していきます。
93	「学生の進路・社会進出の支援」はぜひ進めてほしい。現在就活中だが、大学の支援だけでは不十分で不安。行政に支援してもらえば、今後就活する後輩に心強い。	1	推進施策(1)に、大学の支援だけでは不安に思われる学生等を対象とした京都市フルカバラー学生等就職支援事業を位置づけ、計画を着実に推進していきます。
94	次期計画の柱に、学生の進路・社会進出の支援があるが、大学だけでなく、小中学校・高校も含めて、小さいときからいろいろな職業を知る機会を設けることは大切なことだと思う。	1	推進施策(1)に「②段階的に職業観を育むキャリア教育の推進」を位置づけ、小学校から高校まで、段階的な職業観を育むキャリア教育を推進していきます。

8 第4編「施策の推進」の「4 大学との連携による京都の経済・文化・地域の活性化」について 14件

番号	市民意見の要旨	件数	本市の考え方
95	「公」=行政ではないと考える。京都市は、よく「公」「民」としているが、「産」も「学」も「公(パブリック)」の部分があり、本来は「官」と「民」。せめて「産・学・官」「地・学・官」とすべきでは。	1	京都市では、「公」=「地方公共団体」の意味合いで、「産学公」「地学公」の表現を用いております。
96	中小産業(伝統産業や地場産業、農業)に学生が関与し、技術を継承する必要がある。弟子入りによる職人の育成や伝統技術の伝達に代わり、大学がこうした役割を果たさなければ、地域産業は消滅する危惧がある。	1	リーディング施策(1)において大学のノウハウをいかした技術継承、職人技術の保全・継承など伝統産業の維持・継続を位置づけているほか、「3学生の進路・社会進出の支援」のリーディング施策「(2) 京都企業と学生のマッチングの促進」で伝統産業を含む多様な京都企業の情報発信に取り組みます。

97	リーディング施策(2)の(イ)と(ウ)は入り口が異なるだけで、内容は重複するのではないか。	1	御指摘のとおり、事業の実施手法が共通する部分がありますが、「区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算」は、地域の主体的なまちづくりの支援を主眼としているのに対し、「学まちコラボ事業」は、地域の課題解決や活性化に加え、学生の学びの観点を重視している点で、事業目的が異なります。
98	NPOや地元企業等の集まるまちづくりに大学生の参加者は見られない。地域の垣根を越えて学生同士が考える「まちづくり」を試してみたい。	1	「大学と地域の連携・コーディネート」の仕組みの充実」をリーディング施策として位置づけており、計画を着実に推進していきます。
99	地域と学生のマッチングは大学ゼミ等が中心で、教授の姿勢によって大きく左右されている。学生は忙しくて、気持ちがあっても地域の取組に参加できないとの声も多く、地域活動の単位認定や有償ボランティア施策などインセンティブが与えられるような仕組みが必要。各大学に働きかけてほしい。	1	「大学と地域の連携・コーディネート」の仕組みの充実」をリーディング施策として位置づけています。単位認定等については、実施している大学の事例紹介など、計画推進の段階で必要な取組を検討していきます。
100	京都市は、町の規模に比して大学数や学生数が多いが、それだけでは「大学のまち」とは言えない。町が大学を受け入れるべく、大学(学生)と地域住民の日常的交流があって初めて「大学のまち」と言える。京都市と大学がしっかり協力し、地域との協力関係を広げてほしい。	1	「大学と地域の連携・コーディネート」の仕組みの充実」をリーディング施策として位置づけるほか、地学公連携による地域課題への対応、学生のコミュニティへの参加促進等を進めていきます。
101	学生の進路支援においてはキャリア教育も重要だが、学生が社会と関わることがまずは大切。学生と地域コミュニティとのつながりを深める取組に期待する。地域でも大学や学生の力を借りたいことがあっても相談先が分からないケースも多く、行政にはこれまで以上に連携コーディネートの役割を果たしてほしい。	1	
102	「大学のまち」と言っても大学が多いまちであり、大学はまちに開かれたという印象がない。	1	「大学と地域の連携・コーディネート」の仕組みの充実」をリーディング施策に位置づけており、計画の着実な推進により、大学と地域の連携をさらに発展させていきたいと考えています。
103	大学を応援するため政策を充実させることは大いに賛成。ただ、あえて言うなら、大学が市民により良いものになってもらうための取組が少ないのでは。	1	

104	写真や絵だけでなく、様々な団体の成果発表ができるようなギャラリーが欲しい。	1	推進施策「(5)大学をいかした芸術文化環境の向上」を位置づけているほか、「5 学生が持つエネルギーをいかした京都力の強化」においても、学生が活躍する場・機会の拡充を位置づけています。
105	大学がもっと市民に身近な存在になってほしい。これからも、社会人からお年寄りまで、多くの人に学びの場を提供する拠点であってほしい。	1	推進施策(5)に「京カレッジ」の魅力向上をはじめ、学びの場の提供を位置づけおり、着実に推進していきます。
106	大学の生き残りを考えると、大学コンソーシアム京都が社会人にも対応する MOOC に取り組むことに価値がある。生き残れない大学の教育を残す意味でもコンソーシムで取り組むことが必要と考える。	1	生涯学習事業「京カレッジ」において、e-ラーニング科目を開講しています。利用状況等を踏まえつつ、今後の展開を検討します。
107	大学の講義を開かれたものにしていけば良い。教室がガラガラでは先生もかわいそう。	1	推進施策(5)に「②歴史・文化の蓄積をいかした社会人向け学習機会の提供」を位置づけ、生涯学習プログラムである「京カレッジ」の魅力向上により、市民の皆様の学びの場を充実していきます。
108	芸術系の大学が地元の小学校・中学校・高校と連携することは、芸術教育の普及にとどまらず、関わる大学生の学びにもつながる。そうした連携の拡大を期待する。	1	推進施策(5)に「③文化芸術教育プログラムの推進」を位置づけ、芸術系大学と小中学校が連携する取組を推進していきます。

9 第4編「施策の推進」の「5 学生が持つエネルギーをいかした京都力の強化」について 8件

番号	市民意見の要旨	件数	本市の考え方
109	市内の大学生が集まる大運動会のようなイベントが考えられないか。	1	「京都学生祭典」をはじめ、大学生が大学の枠を越えて参加するイベントや活動も多数実施されています。御意見については、今後計画を推進する中で参考にさせていただきます。
110	飲食可能なコミュニティスペースがほしい。	1	学生の活動拠点としてキャンパスプラザ京都に学生プラスを設置しています。申し訳ありませんが、飲食可能とすることは考えておりません。
111	行政から助成を受けている学生団体に証明書を発行してほしい(市民、事業者への信用付与)。	1	個別・具体的な内容については、今後計画を推進する中で検討していきたいと考えます。

112	学生Placeの支援金を増額して欲しい。	1	「学生の主体的活動の促進」をリーディング施策に位置づけ、学生プラスにおける支援機能の充実を図ります。具体的な支援内容は、今後計画を推進する中で検討していきます。
113	京都学生祭典は日本だけでなく世界にも誇れる大学のまちならではの取組。これからも支援をお願いしたい。	1	学生の主体的活動の促進を位置づけており、今後も支援を継続していきます。
114	学生の活動支援では、過保護にならないよう自発的な行動のサポートが大切。	1	リーディング施策(1)において、あくまで学生が主体的に活動することを基本と位置づけており、今後も同様の姿勢で支援を継続していきます。
115	大学生たちに、自分の周りに助けが必要な人がたくさんいることを知らせるため、大学生と高齢者が関わる機会をつくってはどうか。これにより、お年寄りが助けられるだけでなく、学生たちも広い視野を持つようになり、自分に「他人を幸せにできる力」があることにも気づく。	1	推進施策(2)に「③コミュニティの活性化」を位置づけ、学生の地域活動への参加・交流を促進していきたいと考えています。
116	地域行事や小中校のイベントに大学生や留学生が参加してくれると、親世代として心強く思う。	1	推進施策(2)に「③コミュニティの活性化」を位置づけ、学生の地域活動への参加・交流を促進していきます。また、「4大学との連携による京都の経済・文化・地域の活性化」の推進施策(4)に「②市立小中学校・高校と大学の連携強化」を位置づけています。

10 第4編「施策の推進」の「6 プロモーション戦略の強化」について 20件

番号	市民意見の要旨	件数	本市の考え方
117	学生の活動やイベント告知などをできる場が増えれば、学生と地域との交流もより深いものになっていく。	1	「プロモーション戦略の強化」を新たな柱として位置づけ、学生とともに効果的な情報発信に取り組んでいきたいと考えています。また、「4大学との連携による京都の経済・文化・地域の活性化」の推進施策(3)に「②地学公連携の市民への周知」を位置づけており、大学や学生と地域との連携や協働を更に推進していきます。



118	京都の寺社魅力を全国にアピール。 全国の高校生に京都を知ってもらおう。	1	「プロモーション戦略の強化」を新たな柱として位置づけ、学生とともに効果的な情報発信に取り組んでいきたいと考えています。
119	大学の魅力だけでなく、京都という都市で学びたいと思ってもらえる「大学のまち・学生のまち」京都でありたい。	1	
120	京都が未来にわたって大学のまち学生のまちであり続けるよう、プロモーションに力を入れてほしい。	1	「プロモーション戦略の強化」を新たな柱として位置づけ、効果的な情報発信に取り組んでいきたいと考えています。
121	京都市のフェイスブックやツイッターでもっとおもしろいものを発信してはどうか。この意見募集についてもSNSでは発信されていなかったと思う。	1	「プロモーション戦略の強化」を新たな柱として位置づけ、効果的な情報発信に取り組んでいきたいと考えています。ご意見の内容については、今後計画を推進する中で参考にさせていただきます。
122	映画の街である京都を学生さんに知ってもらえるようPRしてほしい。	1	「プロモーション戦略の強化」を新たな柱として位置づけ、京都で学ぶ学生への効果的な情報発信にも取り組んでいきたいと考えています。御意見の内容については、今後計画を推進する中で参考にさせていただきます。
123	「京都」そのものについて国内外へ広くアピールできるのは京都市をおいて他にない。個別大学ではできない取り組みに期待したいし、「京都ブランド」を各方面から高めていただきたい。	1	「プロモーション戦略の強化」を新たな柱として位置づけ、効果的な情報発信に取り組んでいきたいと考えます。
124	リーディング施策「大学のまち京都・学生のまち京都」PR戦略の構築においては、専門部会メンバーに経済界も加えてはどうか。	1	専門部会のメンバーについては、御意見も踏まえ、計画の推進段階で検討していきます。
125	京都の子どもたちが、将来は京都の大学へ行きたいと思えるような取り組みも大切だと思います。	1	推進施策(1)に「①中学生・高校生、保護者への広報の強化」を位置づけており、計画を着実に推進していきます。
126	学生自身があまり何も考えずに学生生活を過ごしているのではないか。より多くの京都の学生に計画の考え方や機会提供の内容を周知することで、学生の力がさらにいきるのではないか。	1	推進施策(3)に「①大学・学生向け広報の充実」を位置づけ、京都市の大学政策や大学コンソーシアム京都などの事業を学生に周知していきたいと考えます。
127	計画案を見るまで単位互換制度があることを知らなかった。知らない学生も多いと思うので、大学生に向けてもっとPRすべき。	5	推進施策(3)に「①大学・学生向け広報の充実」を位置づけ、学生や大学関係者への周知に取り組みます。また、「1 学生が学ぶ環境の充実」のリーディング施策として「(1)単位互換科目の魅力の向上」を位置づけています。

128	大学のために京都市が実施していたほとんどを京都に住み京都の大学に通う私が知らなかった。「輝く学生応援プロジェクト」「学生プラス」「student days」「キャンパス文化パートナーズ制度」「京都学生消防サポーター」など面白そうなものがたくさんある。	1	推進施策(3)に「①大学・学生向け広報の充実」を位置づけ、京都市や大学コンソーシアム京都の施策・事業の学生や大学関係者への周知に取り組みます。
129	単位互換事業や学生祭典など私たち(学生)に関係がある事業を知らなかった。大学のまち・学生のまちのプロモーションに力を入れるなら、まずは京都の学生に大学コンソーシアム京都の事業を宣伝することが必要。	1	推進施策(3)に「①大学・学生向け広報の充実」を位置づけ、京都市や大学コンソーシアム京都の施策・事業の学生や大学関係者への周知に取り組みます。
130	キャンパスプラザ京都や学生プラスを知らない人も多く、もっと積極的にアピールを。	1	推進施策(3)に「①大学・学生向け広報の充実」を位置づけており、キャンパスプラザ京都や学生プラスなどの事業を周知していきたいと考えます。
131	京都新聞にはほぼ毎日、学生や大学関係の記事が出ている。誇るべきことだが、市民は気づいていないのでは。PR 戦略として、学生とともに活動している市民に登場してもらおうとよい。	1	推進施策(3)に「②市民向けの広報の充実」を位置づけており、ご意見の内容については、今後計画を推進する中で参考にさせていただきます。
132	学生増加は良い影響が多いと思うが、一般市民は恩恵より身近に起きる不便さを強く感じるのではないか。あるテレビ番組で大学立地への付近住民の不満が示されていた。外国人留学生が大量増加した場合、さらに多くの市民が不満を感じるのでは。計画反対ではなく、一般市民にも恩恵が行き届くよう配慮してほしい。学生の周りの一般市民に「学生が近くにいることの素晴らしさ」のアピールも必要では。	1	推進施策(3)に「②市民向けの広報の充実」を位置づけ、市民理解の向上に努めるとともに、「4 大学との連携による京都の経済・文化。地域の活性化」のリーディング施策(2)において、大学と地域の連携をさらに発展させていきたいと考えています。

11 その他 8件

番号	市民意見の要旨	件数	本市の考え方
133	大学生の乗るバスに他の人が乗り合わせるのが申し訳ない。通学用にシャトルバスやノンステップバス等を増便させると良い。	1	本計画での位置づけは難しいことから、関連計画や担当部局における検討に向けた御意見として参考にさせていただきます。
134	学生、留学生の地下鉄やバスの利用料金を下げてほしい。フランスでは学生は地下鉄やバスをとっても安価に利用できると聞く。	1	
135	自転車専用レーンが欲しい。 タクシーがこわい。	1	
136	京都市立芸大移転について、移転後の洛西地区にある大学の利用方法を移設と平行して検討すべきではないか。	1	
137	京都の大学に入学(住民票を移転)すれば何らかの特典が得られるような政策の検討を。東京都では「受験生チャレンジ支援貸付事業」を実施している。	1	学生が文化施設等に無料や優待料金で入場できる「Student Days」や「京都市キャンパス文化パートナーズ制度」などを実施しています。御意見については、今後計画を推進する中で参考にさせていただきます。
138	p17の京都トキワ荘PJのような(PC, Wi-Fi完備の)シェアハウスやmyスペースを安価に貸し出してほしい。	1	学生の活動拠点として、キャンパスプラザ京都に学生プラスを設置しています。学生向けのシェアハウス等については、今後計画を推進する中で参考にさせていただきます。
139	図書館に一般の人を入れるようにしてほしい。	1	個々の大学の方針について本計画では定めませんが、登録等によって学生以外に図書館を開放している大学も多いので、お問い合わせいただきたいと思います。
140	意見送信フォームの欄が見つけにくい。	1	御指摘を踏まえ、今後、改善に努めます。